

## 全損保の碑

〔地図番号25〕

<b>建立年月日</b> 1965（昭和40）年8月6日	
<b>建立者</b> 全日本損害保険労働組合 広島地方協議会	
<b>設計者</b> （公募）	
<b>形状</b> 長方形のみかげ石に碑文が記されている。	
<b>建立の目的</b> 原爆の犠牲となった保険会社社員の慰霊のため。	
<b>碑文</b> 「なぜ あの日はあった なぜ いまもつづく 忘れまい あのにくしみを この誓いを」	
<b>特記事項</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>保険会社の犠牲者</b>            被爆当時、市内には14の保険会社に200人の社員が勤務しており、そのうち89人が犠牲となりました。</li> <li>2 <b>原爆投下の犯罪性を鋭く指摘する碑文</b>            戦後まもない頃の多くのモニュメントが占領政策の影響を受ける中、この碑は、原爆投下の犯罪性を鋭く指摘し、平和な世の中を築くための行動を新しい世代へと継承させることを呼びかけており、その意味で存在意義の大きいものとなっています。</li> <li>3 <b>公募による碑</b>            広島全損保労働組合が、この碑を建立するため全国の仲間に募金を呼びかけ、その際、碑文や碑の形も募集しました。碑文の作者は、被爆者である保険会社の社員です。</li> <li>4 <b>碑の移設</b>            広島平和記念資料館東館新築工事に伴い、1990（平成2）年同館南側から北東の現在地に移設されました。</li> </ol>	